

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイハバナケア今福		
○保護者評価実施期間	令和6年9月23日		～ 令和6年10月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和6年9月23日		～ 令和6年10月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童が主体となって活動に取り組める環境を整えている。	卓球セット(卓球台、ラケット、ピンポン玉、ネット)、タブレット、粘土やプラバン、折り紙や段ボール等を用意することで、運動や創作活動等、幅広く活動の選択肢が増やせるようにしている。	児童が希望する活動に取り組めるように、必要に応じて、プラバンや創作活動に使う道具は購入しておくようにしている。
2	土曜日や学校の長期休業時は、公園や図書館に行く時間を確保している。	体を動かすことや、外に行くことが好きな児童は、公園に外出する時間を提供し、公園での活動を楽しめるようにしている。また、読書が好きな児童の為に、図書館で過ごせる時間を提供し、気に入った本は借りれるようにしている。	公園外出時は、遊びの中で怪我が無いように気をつけている。また、公園内での児童の所在を把握するようにしている。
3	利用時間中、児童と一緒におやつや創作活動の道具を買い物出来る時間を作っている。	かごやカートを持ってもらい、購入する物を確認してもらいながら、カゴに入れてもらえるようにしている。また、レジ通しや段ボールへの箱詰めも児童が出来るようにしている。	お金に関わる機会を提供することで、お金の使い方や、計算についての理解が深められるようにしている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所出入口のドアのカギが簡単に開け閉め出来るしまう。	出入口付近で児童が過ごしていることがあり、出入口のカギを触り、開け閉めしようとする事がある。	出入口付近に児童が居る時には、即座に対応できるように側で見守っている。
2	個別の対応が難しい。	事業所内に相談室はあるが、間仕切りのみで部屋を区切っている為、大きな音や声等を遮断することが出来ない。	音が遮断出来るようになれば、個別で対応することが可能となる。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイノバナケア今福

公表日 令和6年11月1日

利用児童数

18名 令和6年11月1日

回収数 13

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2	0	0	十分に確保されていると感じた。	引き続き継続します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	1	問題ないと感じている。	引き続き継続します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	0		引き続き継続し、利用児童の状況に配慮した対応を心掛けていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0	実際に見て問題ないと感じた。	引き続き継続し、利用児童が清潔で心地よい空間で過ごせるよう配慮した対応を心掛けていきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	0	問題ないと感じている。	引き続き継続します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	0	連絡帳に書かれていることと違いは無いと感じた。	引き続き継続します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0	意見を聞いてもらったの作成内容だった。	引き続き職員間で情報の共有をし、児童発達支援管理責任者が作成します。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0	されていると思う。	引き続き職員間で情報の共有をし、児童発達支援管理責任者が作成します。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0	連絡帳に書かれていることで問題ないと感じた。	引き続き継続します。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	2	0	0	子供が意欲的に取り組む内容で工夫されている。	引き続き継続します。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	5	2	聞いたことが無い。	今後も行う予定はありません。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0	説明を受けた。	引き続き継続します。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0	説明を受けた。	引き続き継続します。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	4	2	困ったことがあれば助言を受けている。	引き続き継続します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0	連絡帳を通じて伝えあっている。	引き続き継続します。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	0	0	連絡帳を通じて行われている。	引き続き継続します。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0	相談に乗ってもらっている。	引き続き継続します。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	9	1	交流はしたことが無い。	今後も行う予定はありません。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	0	0	対応されていると聞いている。	引き続き継続します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0	配慮されている。	引き続き継続します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	3	2	2	発信されている。	避難訓練等の実施はその都度お知らせしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	1	特に問題ないと感じている。	引き続き継続します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	0	0	実施されていると聞いている。	今後資料配布での周知を予定しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	1	行われている。	今後も半年に一度の実施を目標としています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1	安全であると聞いている。	引き続き継続します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	1	説明があった。	引き続き継続します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	楽しそうに通所している。	引き続き継続します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0	楽しそうに通所している。	引き続き継続します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0	満足している。	引き続き継続します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイノバナケア今福				公表日	令和6年 11月 1日
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	3	児童発達支援管理責任者の他に介護福祉士が1名、保育士が1名、児童指導員が1名常勤しています。必要に応じて、児童指導員や児童指導員等を増員しています。	必要な人員配置はしていますが、職員の希望休や出勤状況等の影響により、利用児童の人数に対しての職員数が少なくなってしまうこともあります。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	1	その日の流れをホワイトボードに掲示して説明をしています。退所時の送迎配置を名札で掲示し、視覚的に分かりやすくしています。相談室を設け、状況に応じて活用しています。	引き続き継続し、利用児童の状況に配慮した対応を心掛けていきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		3	2	清掃は毎日欠かさず行っています。活動内容に応じたスペースの確保、利用児童の状況に応じて相談室の確保をしています。	建物の構造が鉄骨で、日当たりの良い場所にある為、夏場は暑くなってしまいます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	1	相談室を設け、利用児童の様子に合わせてながら、必要に応じて個別の対応が出来るようにしています。	引き続き継続します。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	日々のサービス提供前に、前日の振り返りや当日の支援について、支援者間で共通理解を行っています。	引き続き継続します。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員会議で保護者の意向等に対して共通理解出来るようにし、必要に応じて業務改善に繋がられるようにしています。	今後も事業所内会議を月に一度、定期的に行っていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員からの意見等に対しては、管理者がその都度対応するようにしており、内容によっては、業務改善に繋がられるようにしています。	今後も事業所内会議を月に一度、定期的に行っていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	自己評価や法人の評価は行っていますが、外部評価は行っていません。	今後も外部評価を行う予定はありません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	外部研修に参加した職員が、研修の内容を報告し、情報の共有をすることで共通理解が出来るようにしています。	引き続き継続します。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	5領域の視点に基づいて支援プログラムを作成しています。	引き続き継続します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	契約時や必要に応じて、アセスメントやモニタリングを行っており、本人や保護者のニーズや課題、または相談支援専門員からの情報共有等により、放課後等デイサービス計画書を作成しています。	引き続き職員間で情報の共有をし、児童発達支援管理責任者が作成します。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	児童発達支援管理責任者が作成した計画を基に、支援に関わる職員間で情報共有していくことで、こどもの最善の利益が考慮出来るようにしています。	引き続き職員間で情報の共有をし、児童発達支援管理責任者が作成します。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	放課後等デイサービス計画書に沿った支援を実施していますが、内容に基づいた支援が困難な場合には、担当者会議等の内容に応じて、計画の見直しを行います。	引き続き継続します。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	フォーマルなアセスメントでは、知能検査や発達検査の結果を保護者から受け取り、その内容を職員間で共有しています。インフォーマルなアセスメントでは、日々の様子を観察したり、個別面談や送迎時に保護者と情報共有出来るようにしています。	引き続き継続します。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個々の個別支援計画書に「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」の項目を記載して計画の作成を行っています。	引き続き継続します。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	直接支援をする職員が、日々の児童との関わりの中で、プログラムの立案をしています。	引き続き継続します。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	学習など固定化されているプログラムもありますが、安全面に配慮した上で、児童が主体となって活動出来るような環境を整えています。	引き続き継続します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	本人の状況に応じて、放課後等デイサービス計画書を作成しています。	引き続き職員間で情報の共有をし、児童発達支援管理責任者が作成します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	日々のサービス提供前に、職員間で役割分担など共通理解を行っています。可能な限り全体の把握に努め、チームで支援が出来るようにしています。	引き続き継続します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援終了後、または翌日に振り返りを行い、注意点や良かったこと等を話し合い、支援に関わる全員に情報の共有をしています。	引き続き継続します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	利用時の様子や連絡事項などを複写のノートに記入し、記録しています。	引き続き継続します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングや個別面談を行い、放課後等デイサービス計画書の見直しを行っています。	引き続き継続します。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	利用児童が主体となった活動の中で、放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を適宜複数組み合わせ支援しています。	引き続き継続します。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	利用児童のそれぞれが主体となって活動できる環境を整えています。自己決定が難しい場合は、いくつかの提案の中から活動を選んで頂くようにしています。	引き続き継続します。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者や介護福祉士、保育士、児童指導員が参加しています。	引き続き継続します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	あだちこども診療所を協力医療機関としており、保護者から相談があった場合は、受診の提案をしています。	引き続き継続します。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	通常予定している下校時間と異なる場合は、保護者から連絡を頂く形となっています。	引き続き継続します。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	必要に応じて行っています。	引き続き継続します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	特別支援学校などは、卒業後の進路に関して問い合わせがあった時には、情報提供を行っています。	引き続き継続します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	現状は行っておりません。	今後も行う予定はありません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	現状交流は行っておりません。	今後も交流を行う予定はありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	積極的な参加はしていません。	今後も積極的な参加は予定していません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時などで保護者に日々の様子や支援内容を報告しています。また、必要に応じて電話での連絡を行い、共通理解が出来るように努めています。	引き続き継続します。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	ペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者からの希望や相談があった場合は支援しています。	引き続き継続します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に受給者証に記載されてるように利用者負担額についての説明をしています。また、負担額が変更になった場合は必要に応じて説明をしています。	引き続き継続します。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的に、アセスメントやモニタリングを行っており、本人や保護者のニーズや課題、または相談支援専門員からの情報共有等により、放課後等デイサービス計画書を作成しています。	引き続き継続します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	児童発達支援管理責任者による、計画書を示しながらの説明を行っています。質問や問い合わせには常時対応し、丁寧に説明をしています。	引き続き継続します。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談や助言は、保護者の希望に応じて行っています。	引き続き継続します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5	父母の会はありません。保護者からの希望もありません。	今後も行う予定はありません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情があった場合は誠意をもって対応しています。保護者が可能な限り納得していただけるように説明をしています。	引き続き継続します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	ホームページにて通常授業時や長期休暇時の流れについて掲載しています。定期的な会報の発行は現在はありません。	避難訓練等の実施はその都度お知らせしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報の取り扱いに関しては、全従業員が十分に配慮して対応しています。また、情報の保管場所は扉付きのロッカーを使用しています。	引き続き継続します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	保護者からの助言を参考にさせて頂き、職員全体で話し合って実践しています。	引き続き継続します。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	現状交流は行っておりません。	今後も交流を行う予定はありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、十分に説明・周知することは困難でした。	今後資料配布での周知を予定しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	地震と火災を想定した避難訓練を半年に一度実施しました。訓練の際は、利用児童に訓練の内容を説明してから行っています。訓練の様子は連絡ノートへ記載、または送迎時に説明しています。	今後も半年に一度の実施を目標としています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	服薬や発作については、アセスメントやモニタリングの際に確認できるようにしています。予防接種については、随時保護者から連絡を頂いています。	引き続き継続します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギーに関して医師の指示書に基づく対応の事例はありません。保護者からの情報提供により対応しています。必要に応じて対応しています。	引き続き継続します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	施設の設備や送迎車両の安全確認、施設外環境の確認は随時行っています。また、自信と火災を想定した避難訓練を半年に一度実施しています。	今後も随時安全確認を実施し、半年に一度の避難訓練を目標としています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	災害時の避難場所等は、伝えていますが、安全計画に基づく取り組み内容の周知は出来ていません。	モニタリングや面談の中で、周知していくことを目標としています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットの報告書は作成しています。日々の支援に関する話し合いや、月に一度の職員会議で情報の共有をし、再発の防止に努めています。	引き続き継続します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	虐待に関する実態の把握は職員同士で周知・共通理解をしています。虐待が疑われる場合は、関係機関と連携を取り、適切な対応をします。	引き続き継続します。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	児童が不安定になり、他児童や周りが危険であると判断した場合は、安全確保のためにやむを得ず身体拘束をすることを個別支援計画書に明記し、説明をしています。また、身体拘束の実施があった場合は保護者にその時の児童の様子や状況の説明をしています。	引き続き継続します。	